

## 44 オオタニワタリ(チャセンシダ科)



指 定 平成 16 年 2 月 27 日 屋久島町指定天然記念物  
所在地 鹿児島県屋久島町湯泊

オオタニワタリ（和名 大谷渡り）は、伊豆諸島、紀伊半島、四国、九州以南に自生する常緑性シダ植物です。谷間のやや湿った木の幹や岩の上に着生する植物で、その姿が「シダが谷を渡っている」と例えられたものとされています。葉は大きいもので長さ 1 m 以上、幅は 15 cm に達し、下面には鱗片を付けますが古くなると脱落します。かつては山野に多数自生していましたが、山林の伐採や乱獲のため絶滅危惧種とされています。ここ湯泊のオオタニワタリ群は、野生のオオタニワタリが減少している今、同種保護のための重要な役割を担っています。

また屋久島には、オオタニワタリに加え近縁種のシマオオタニワタリが自生しています。オオタニワタリは、葉裏の孢子囊群が葉幅の 3 分の 2 以上に達するのに対し、シマオオタニワタリは 2 分の 1 程度である点で区別できます。